

■第5回 大阪狭山市公共施設再配置計画策定委員会での主な意見

日時：令和6年8月1日（木）13時30分～16時30分

委員：辻^{※1}、清水^{※2}、山村、陸野、津田、大塚、古城、菊屋（敬称略） ^{※1}委員長 ^{※2}副委員長

		委員からの主な発言等（一部、事務局の回答も）
1	立地適正化計画との整合性について	<ul style="list-style-type: none"> ・今熊のあり方は立地適正化計画でも大事に考えており、庁内でモデル的に進めていくという認識は整合がとれている。 ・施設の具体的な内容については当委員会が主で検討することになるかと思うが、立地適正化計画では、今熊に複合施設が立地することに合わせた交通ネットワークをどう考えていくのかなど、様々な議論をしている。
2	交通結節点機能について	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングで交通の話がでた。今熊の再配置においてバスの中継拠点にすれば施設そのものが使い勝手がよくなる。 ・これから高齢者が増えてくるので、歩いて行くよりも気軽にバスに乗って行ける場所がよい。高齢者にとってはバスに乗る方が近いかもしれない。そういったことも考えなければいけない。
3	総合管理計画における10%の削減目標について	<ul style="list-style-type: none"> ・今熊の複合化で10%削減できないか。 ・今の公共施設は市民にとって満足したものになっているのか。10%削減は市民のためになるのか。施設が足りていないのであれば削減するのはおかしい。 ・公共施設を今の状態で維持すること自体、お金がかかり、市民の負担が大きくなるから、市民の負担を少なくして市民サービスを維持する。そこが難しい。 ・例えば、民間の事業者にホテルとして土地を貸し、民間に維持管理・運営をしてもらい、ホテルの一部を行政が借りる仕組みにすれば、行政が使用する延床面積は減る。そういった手法を考えていくことが重要で、何でも行政がお金を出してつくるというのは違うような気がする。 ・再配置で機能を見直ししていく中で、増やすべきところは増やして、代わりにここは減らすというように、トータルとして10%削減だと理解している。
4	敷地の高低差について	<ul style="list-style-type: none"> ・今熊地区の敷地には高低差があり、バリアフリーなど、高齢者や障害者が使いやすい施設を計画していくうえで、考慮すべきところが多い。敷地内、建物の前まで車で行けるようにしたり、駐車場や階段、スロープをつけるとなれば、外構にもお金がかかり、維持管理も必要になる。 ・今熊は、立地条件としては良い。高低差はあるが、今回は全体的に見直しを行うので、アップダウンについては建築的に解消できる気がする。
5	施設類型ごとの収支状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・収入は施設使用料になるが、使用料が適正かどうかという視点が抜けている。書くのであれば、使用料の徴収自体が適正かどうかまで踏み込まないと、比較にはならないのではないかと。 ・将来、複合化して民間も入ってくる。市は使用料を取る。どれだけ取るのが適正なのか、検証する必要がある。現状だけ書いていても比較する意味がない。 ・収支の部分については、今現在はこういう状況であるが、将来的には複合化した段階で見直すなりして収支均衡になるようにする、ということを書くべきではないかと。 →事務局）維持管理の効率化の中で追記する。

		委員からの主な発言等（一部、事務局の回答も）
6	今熊地区に公共施設が集積している経緯について	<ul style="list-style-type: none"> ・50年以上前の話だが、今熊に公民館や保健センターができた経緯を知りたい。 ・先人の思いもあるだろうから、それを継承していかなければならない。経緯がわかれば賛同もしやすいと思う。 →事務局) 一例として聞いている話では、南にニュータウンができ、旧村(北)からも南からも行きやすい中心というところから、狭山池を中心とした場所になったと聞いたことがある。
7	指定管理者制度について	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は公民館、図書館、福祉施設にそれぞれ指定管理者が別々に入っていると思うが、複合化したら一社で全館を管理することになるのか。 ・専門分野で指定管理者になっている団体もあり、その団体が公民館の指定管理ができるかどうかという問題もある。 →事務局) 今は別々に契約しているが、JV（共同企業体）のような形で一本化できれば、契約の簡素化にもなると考える。
8	こども園の統合について	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・こども園について複合化という表現は適切か。 ・学校園の実施方針に跡地利用の記載がある。令和10年度に再編、令和11年度に跡地活用となっているが同時に記載できないのか。 →事務局) 記載内容や注釈等を調整する。
9	「第一期で目標とする実施年度」の記載について	<ul style="list-style-type: none"> ・再配置計画は、こういう方向で考えている、ということをお大卒として認めて、実際に動かしていくための基本構想や基本計画は次の段階で議論する、そういう枠組みになるのではないか。 ・再配置計画で、何年度にどうするかなど、具体的に押し過ぎてしまうと後々縛ることになる。後ろの構想なり基本計画・基本設計の足を引っ張ることにならないか。 →事務局) 今回の計画は、第1期でやるべきことを整理したうえで、何年度に何をやるのか、何と何を複合化するかを示す計画となる。
10	今後の市民参画について	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングで、若い人たちにもっと来てほしい、同じ世代に来てほしいという意見があった。ワークショップでも子どもを連れて来られる場を設ければ、若い人も来ると思う。行きやすい場を提供してあげてほしい。
11	答申（付帯意見）について	<ul style="list-style-type: none"> ・再配置や建替えであれば、サービスの水準は、現状維持ではなくて、ぜひ向上を目指していただきたい。 ・ICTなど新しい技術に対して備える、民間のノウハウを踏まえてこれからの施設を考えていくなど、未来志向的なところもぜひ入れていただきたい。 ・市民との協働が気になる。実際に意見を聞いて、協働する場合に、どのように意思疎通を図るのか。 ・子どものための教育施設は特別だと思うので、社会教育系とは分けて考えてほしい。それをメッセージで伝えるのであれば、本文で使っている「学校園施設」にすることで子どもに限定できる。